

日本メドトロニック 医療従事者・心肺蘇生専門家向け自動体外式除細動器 「ライフパック 1000」の販売を開始

日本メドトロニック株式会社(代表取締役社長:島田隆、本社:東京都港区)(以下日本メドトロニック)は、去る8月24日、医師、救急救命士、消防隊など、医療従事者や心肺蘇生の専門家に向けた自動体外式除細動器(AED)「ライフパック 1000」の販売を開始いたしました。「ライフパック 1000」は、救急車内はもちろん、航空機や船舶など、様々な苛酷な環境下での使用に耐えうる堅牢性が特徴です。昨年7月には市販されている17種類のAEDの中から、NASA(アメリカ国立航空宇宙局)の厳しい臨床使用評価テストを通過した唯一のAEDとして、国際宇宙ステーションに設置されました。

「ライフパック 1000」は、心電図波形や心肺蘇生法を文字やアニメーションで映し出す大画面ディスプレイを装備し、初めて利用する方にも簡単に操作できる工夫が施されています。また、現場到着後にすぐに心肺蘇生を開始する音声ガイダンスの設定など、地域毎の心肺蘇生プロトコルに沿った運用を可能にするため、ユーザーニーズに即したカスタマイズができる設定の柔軟性を備えています。さらに、近年特にその重要性が注目されている心臓マッサージの有効性をより高めるため、心臓マッサージ時間の極大化を支援する独自の技術「cprMAXテクノロジー」を搭載しています。

当社は、「ライフパック 1000」の発売により、本年5月に販売開始した機械式心肺人工蘇生器「LUCAS™心臓マッサージシステム」と併せ、救急心肺蘇生現場における二つの重要な要素、つまり、早期除細動と絶え間ない確実な心臓マッサージという臨床ニーズに同時にお応えできるようになると考えています。

日本メドトロニックは、今後も心肺蘇生が必要とされる全ての領域で様々な人々によって使用される革新的な製品を提供し、突然の心肺停止によって亡くなる人がいない世界を目指しています。

【「ライフパック 1000」について】

- ・ 12cmx8.9cmの大画面ディスプレイであらゆる角度から心肺蘇生ガイダンスをアニメーション(イラスト)を交えて確認できます。
- ・ 救急車、航空機、船舶など、様々な環境や過酷な使用条件にも耐えうる堅牢性を誇ります。2008年7月にはNASA(アメリカ航空宇宙局)の選定により、国際宇宙ステーションにも搭載されました。
- ・ 地域毎の心肺蘇生プロトコルへの設定変更が可能で、地域ニーズに即した救命処置が可能です。
- ・ 心肺蘇生時間を極大化する「cprMAXテクノロジー」を搭載。従来のプロトコルに基づくAED操作に比べ心肺蘇生に割り当てる時間を最大60%増加(当社比)させる事が可能。

【「LUCAS™心臓マッサージシステム」について】

- ・ スウェーデン Jolife 社の製品で、圧縮空気で動作するコンパクトで持ち運びが容易な自動心臓マッサージシステムです。
- ・ 心肺蘇生の国際的ガイドラインに準拠し、4-5cmの圧迫深度、100回／分の絶え間ない胸骨圧迫心臓マッサージを行います。
- ・ 装置の大部分が X 線透過性をもつため、これまで応用が困難であった経皮的冠動脈インターベンション(PCI)施設など、病院内での利用の幅も広がります。
- ・ 装置の動作中でも除細動用電極の貼り付けも容易で、圧迫中の除細動も可能です。

日本メドトロニック (Medtronic Japan Co., Ltd.) について

日本メドトロニックは 1975 年の設立以来 30 年以上にわたり、生体工学技術を応用し、慢性疾患をお持ちの方々の痛みをやわらげ、健康を回復し、生命を延ばす医療機器を通して人類の福祉に貢献することを目指しています。メドトロニックが提供する先端医療技術は、心臓疾患をはじめ、パーキンソン病、糖尿病、脊椎疾患、脳疾患、慢性的な痛みなど慢性疾患を広くカバーしています。

ウェブサイト <http://www.medtronic.co.jp/>

フィジオ・コントロール事業部ウェブサイト: <http://www.medtronic-lifepak.com/>

当社は、本プレスリリースに掲載されている情報の正確性については万全を期しておりますが、医学的情報の提供を意図するものではなく、また、その正確であることを保証するものではありません。報道関係各位に限らず、本プレスリリースのすべての閲覧者が、本プレスリリースの情報をを用いて行う一切の行為について、責任を負うものではありません。

製品に関するお問い合わせ

日本メドトロニック ライフパックお客様センター 0120-715-545